

KW-61

自動開閉式 ワイヤレス充電ホルダー

自動誘導 吸盤取り付け

Kashimura

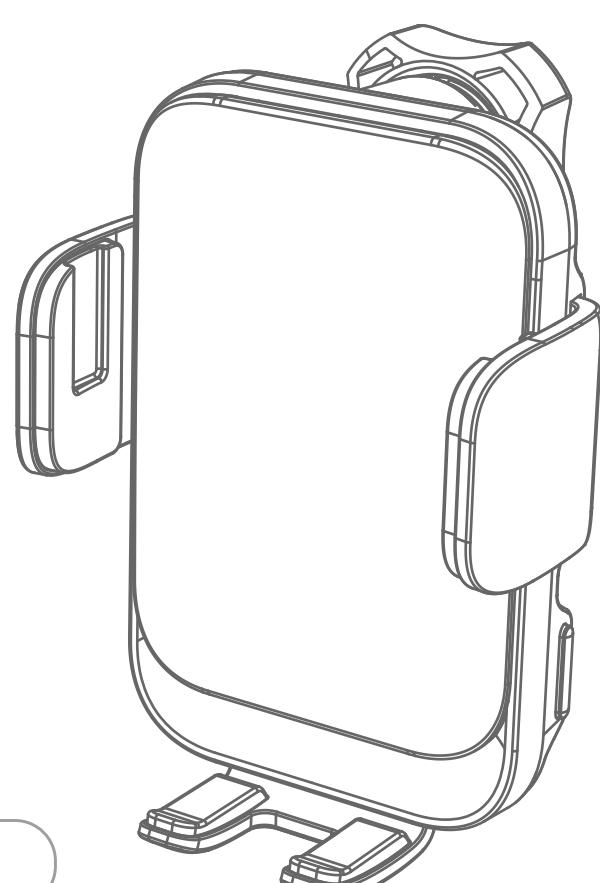


ご使用前には必ず、取扱説明書を
お読みいただき正しくご使用ください。

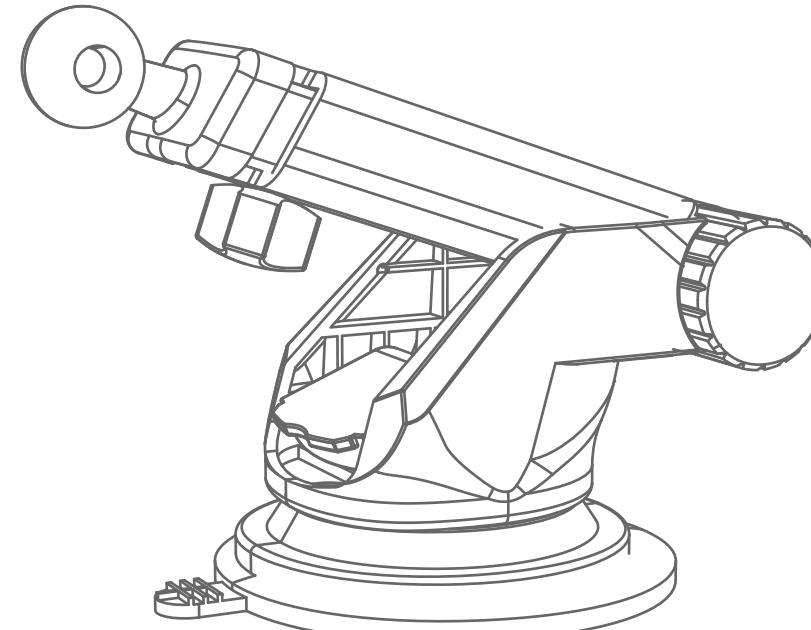
取 扱 説 明 書

同梱内容

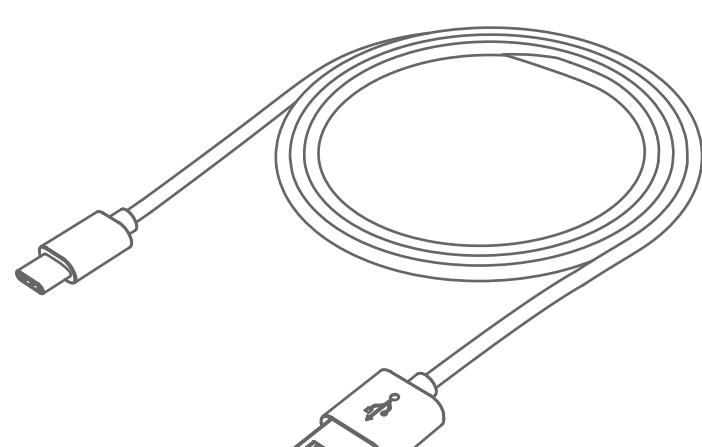
同梱品がそろっていることをご確認ください



本体

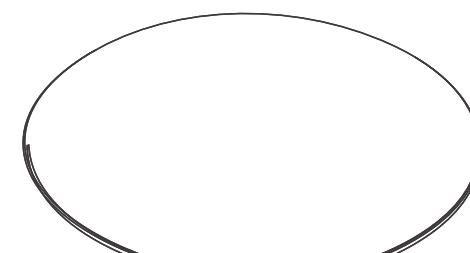


マウントパーツ



USB A to C

電源用ケーブル

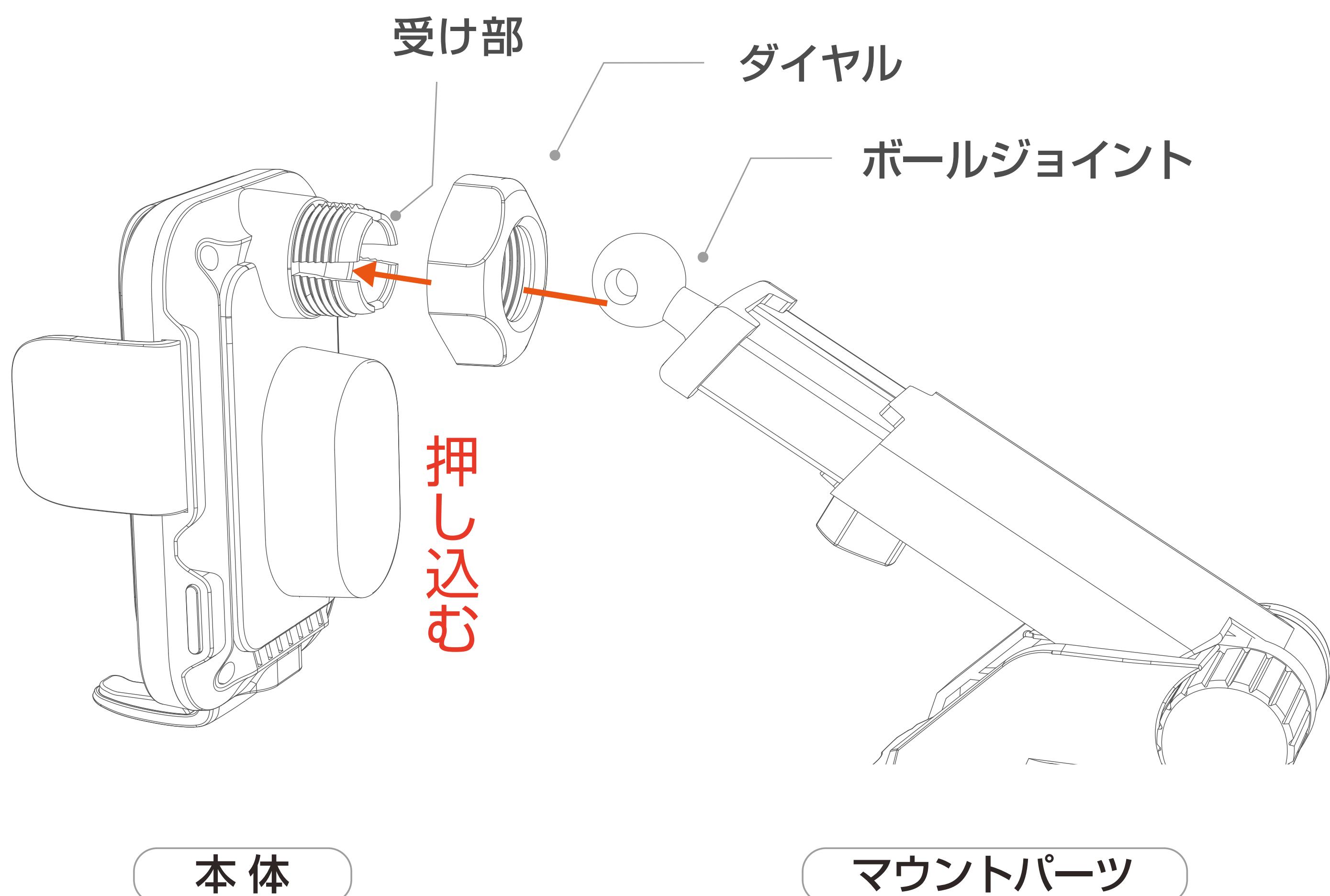


Φ70mm / 両面テープ付き

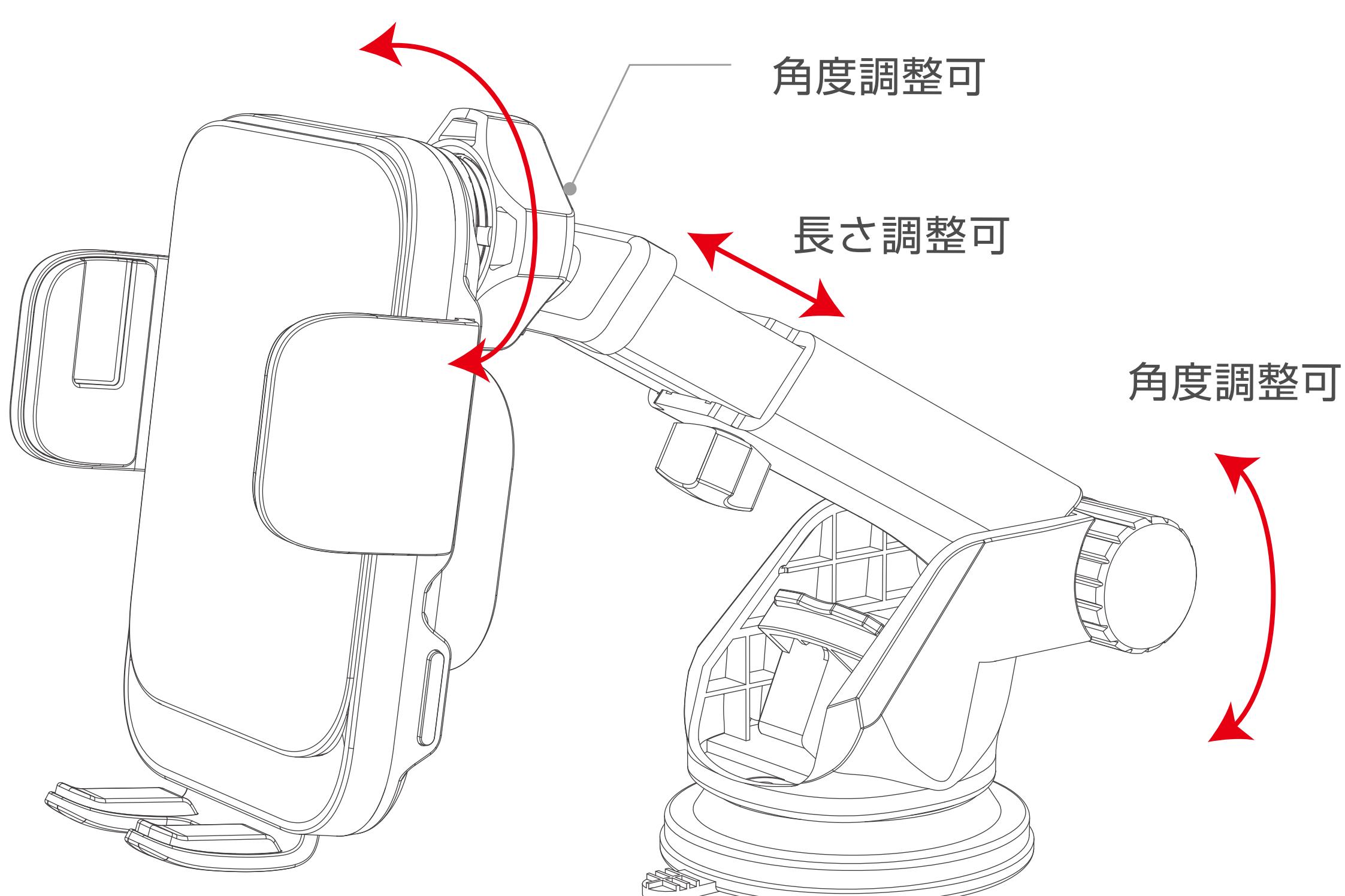
取り付け用プレート

本体とマウントパーツを連結して使用します

- ①本体背部のダイヤルを一度はずします。
- ②ボールジョイントを外したダイヤルを通してから受け部に押し込み、ダイヤルを締めて固定します。



設置場所に合わせて長さ / 角度を調整してご使用ください



- 本製品の取付け位置について -

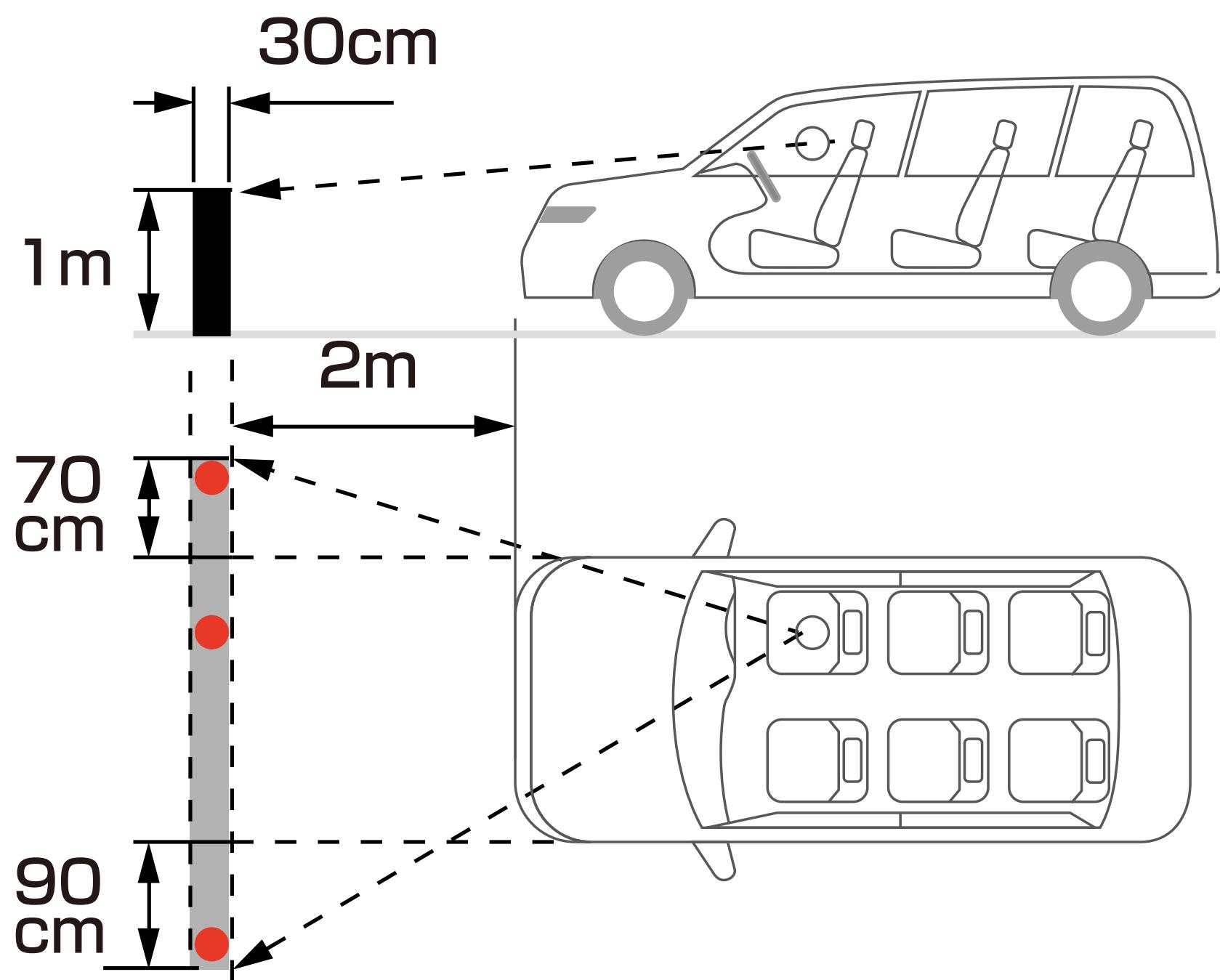
- 国土交通省の定める保安基準に適合させるため、下図を参照にし、運転者の視界を妨げないように本製品を設置してください。

※下図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合、左右逆になります。

- フロントガラス、側面ガラスへの取り付けは保安基準不適合となりますので、絶対におやめください。

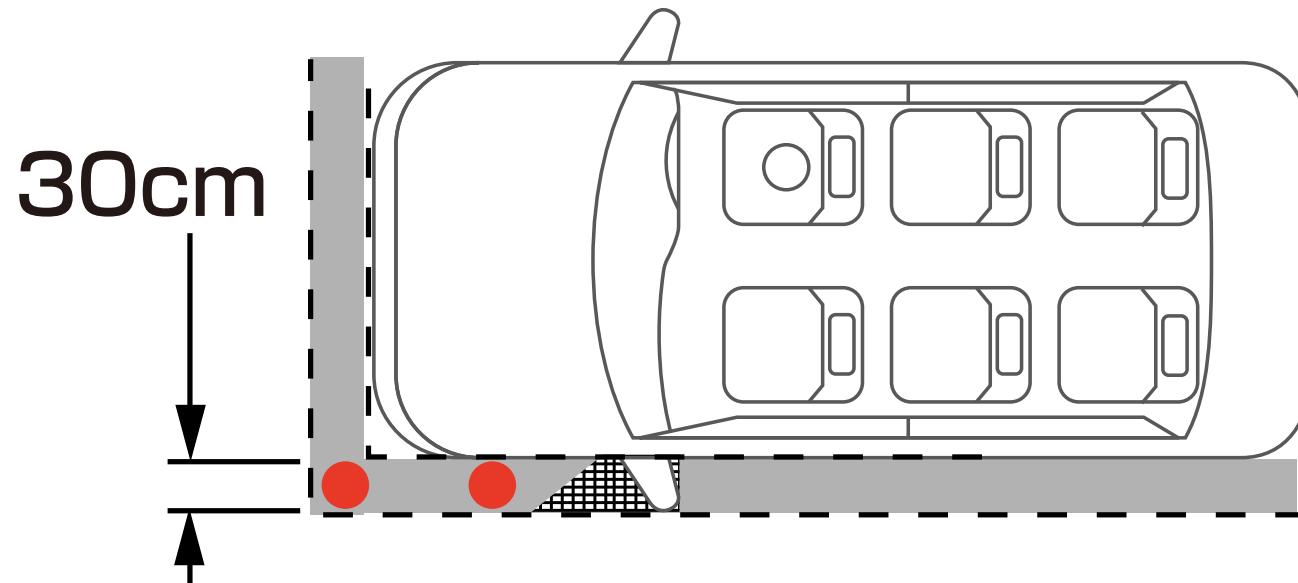
前方視界基準

自動車の前方2mにある高さ1m、直径30cmの円柱を、鏡等用いず直接確認できること



直前直左視界基準

自動車の前面及び左側面に(左ハンドル車の場合は右側面に)接する高さ1m、直径30cmの円柱を鏡等用いず直接確認できること



- : 運転視界基準エリア
- : 高さ1m、直径30cmの円柱
- ▨ : 適応外エリア
Aピラー及び室内後写鏡により
視界が遮られるエリア

車両への取付け手順

- 取り付け位置のご注意 -

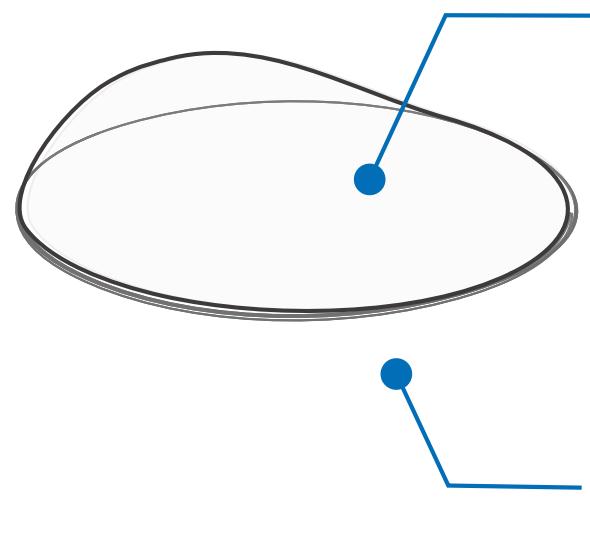
- 取り付けには必ず付属の取付用プレートを使用してください。
取り付け箇所やその周辺は取付け跡が残ったり接着剤成分や
ゲル成分が付着する可能性があります。
- 本革、合成皮革、布地、ウレタン、曲率の大きい曲面、大きな凹凸が
ある面には取付けできません。
- 本製品の吸盤は硬い樹脂製以外の材質のダッシュボード(本革、
合成皮革、起毛地や布地面、表皮が柔らかいダッシュボード)には取り付
けないでください。破損・変色のおそれがあります。
- 水平面に吸盤全面を取り付けてください。またご使用前には本製
品がしっかりと固定されていることをご確認ください。
- 運転の妨げになる場所、危険と思われる場所、安全装置(エア
バッグ、シートベルトなど)の作動効果の妨げになる場所には取り
付けないでください。
- フロントガラスへの取り付けはおやめください。

車両の設置箇所へ取付用プレートを貼付けます

付属品

取付用プレート

必ずご使用ください。



【上面】(PP面)

透明保護フィルムを剥がす

【下面】(両面テープ面)

赤い保護フィルムを剥がす

① 取付け箇所 (ダッシュボード等) の汚れや油分を拭き取ります。

※設置面ホコリや油分等で汚れていると確実な吸着ができません。

※曲面への貼付けは避けてください。

② 上記①の取り付け箇所に「取付用プレート」を貼ります。

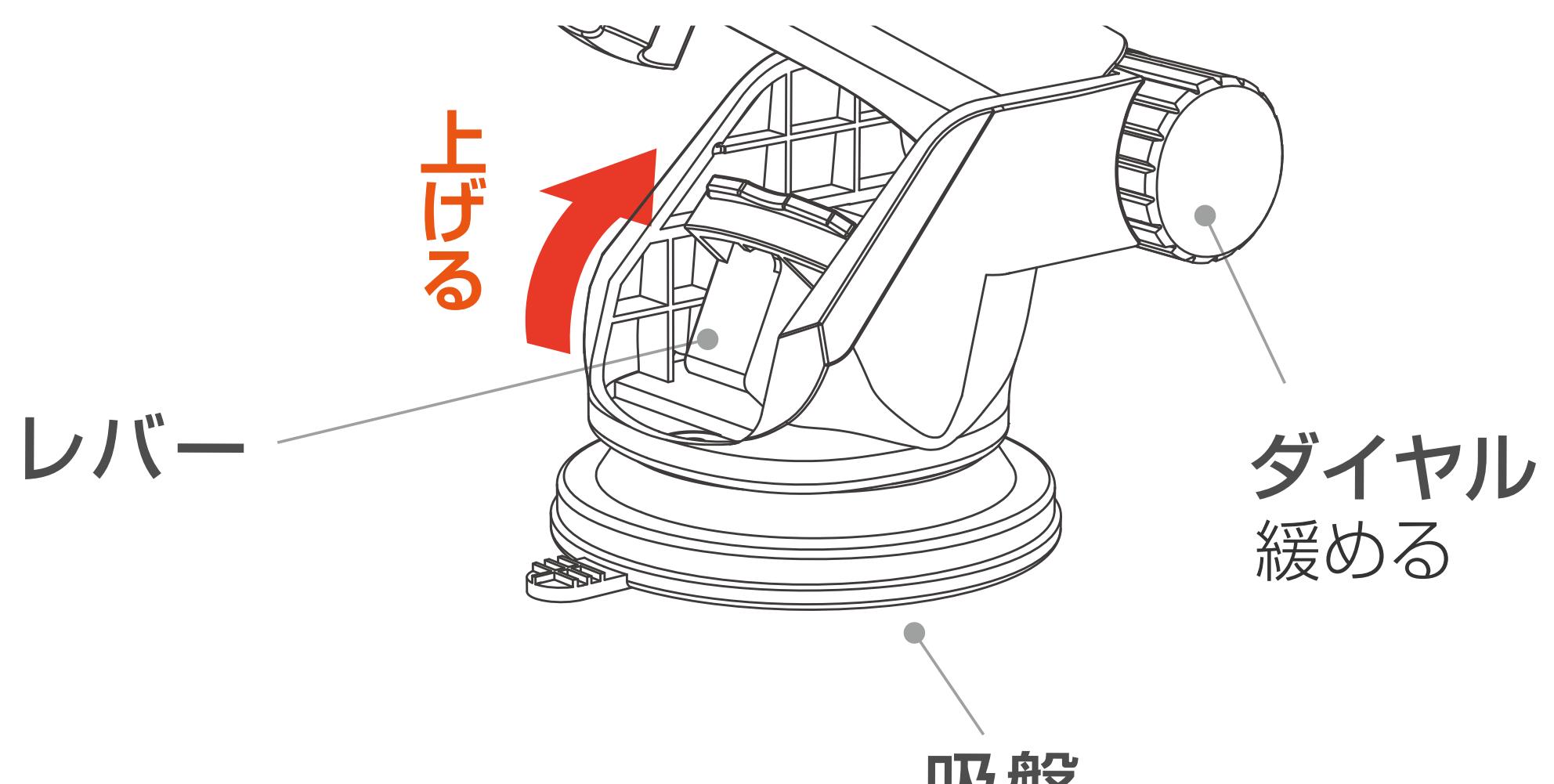
※赤い保護フィルムを剥がして車両に取り付けます。

③ 取付用プレート上面の保護フィルムを剥がします。

※PP面が汚れると吸盤の吸着力が低下しますので触れないでください。

取付用プレートへマウントパーツを設置します

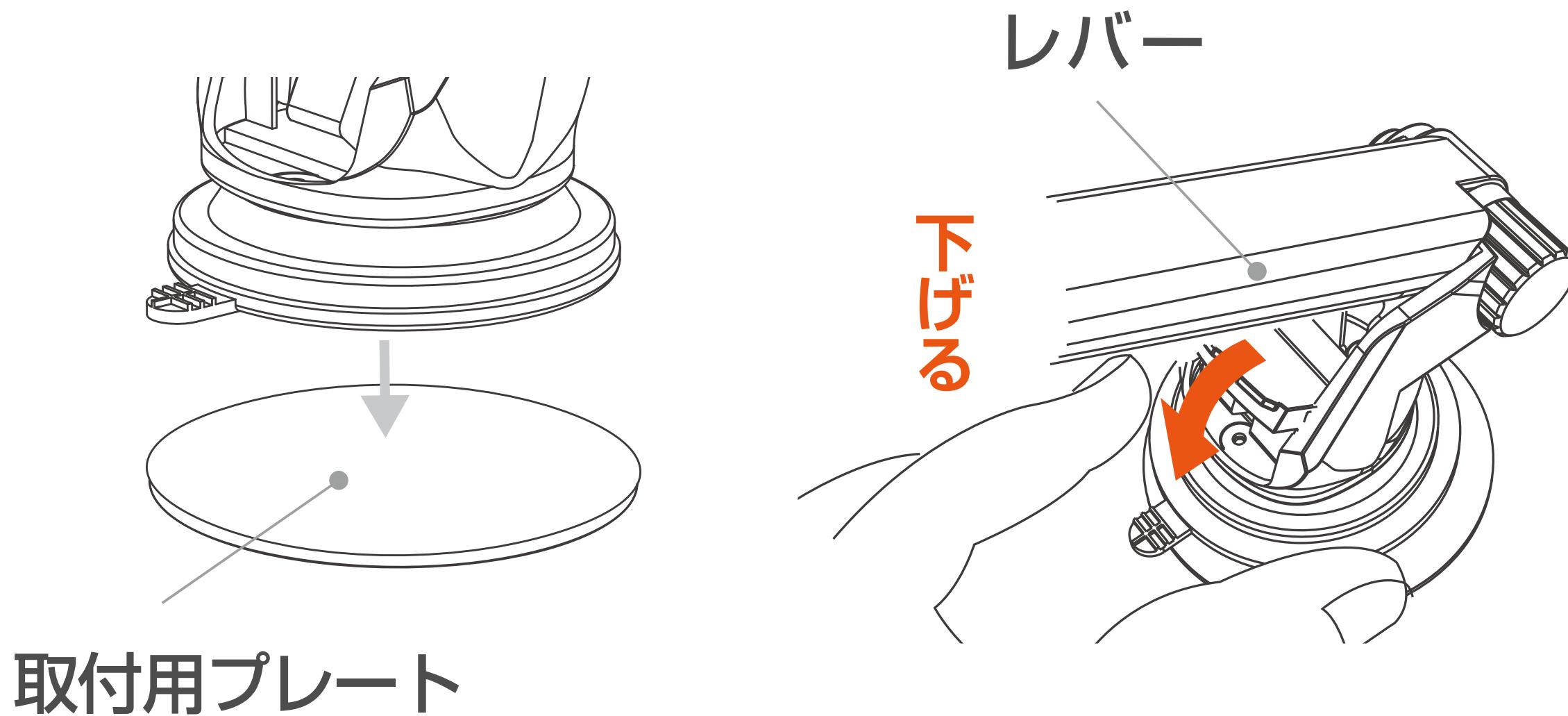
- ① マウントパーツのレバーを上げます。



- ② 吸盤の透明保護フィルムを剥がします。

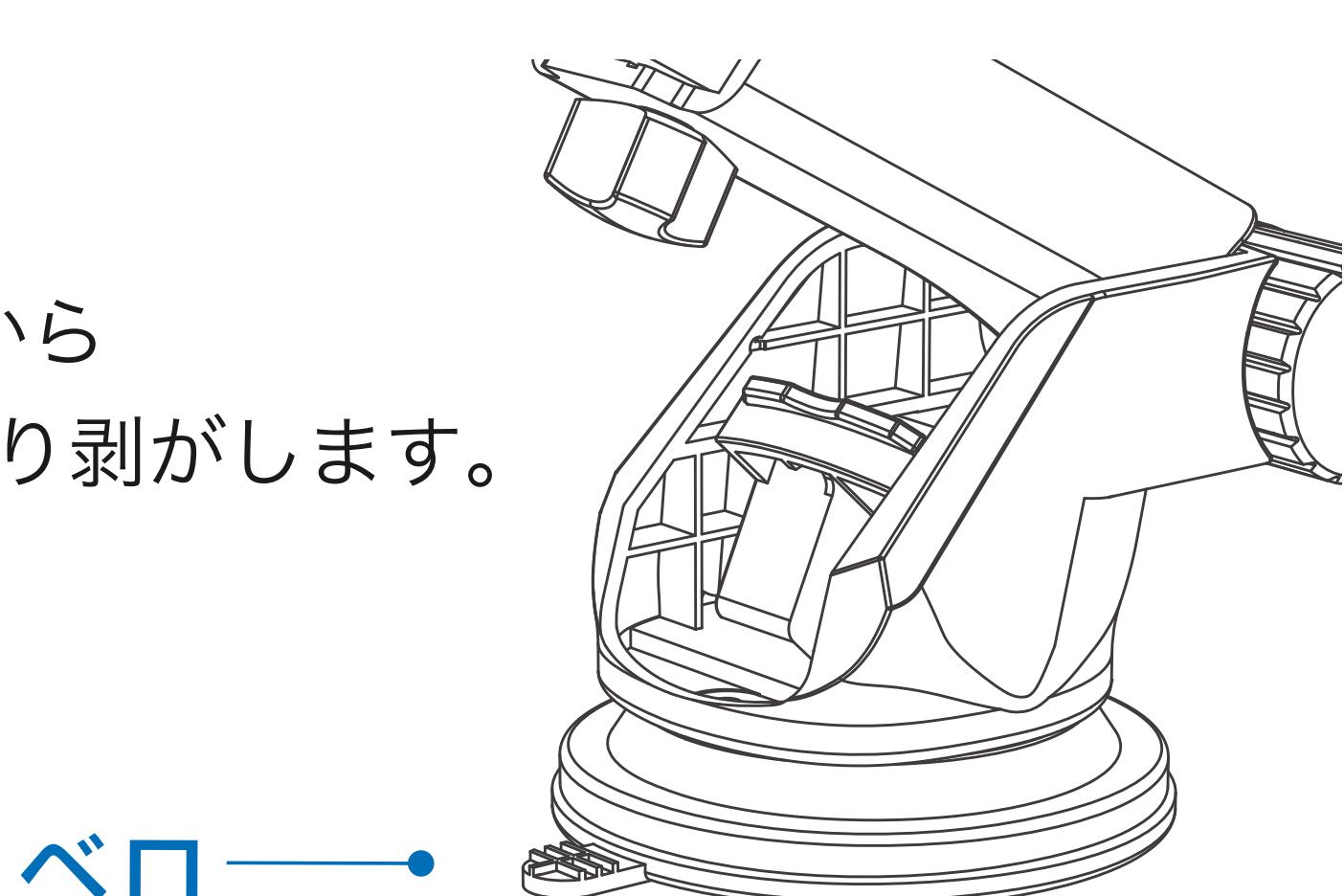
※吸盤面が汚れると吸着力が低下します。吸盤面に触れないでください。

- ③ 取付用プレートに吸盤を押しつけながらレバーを下げます。



取り外し時

取り外し時はレバーを上げてから
吸盤のベロ部分を持ち、ゆっくり剥がします。

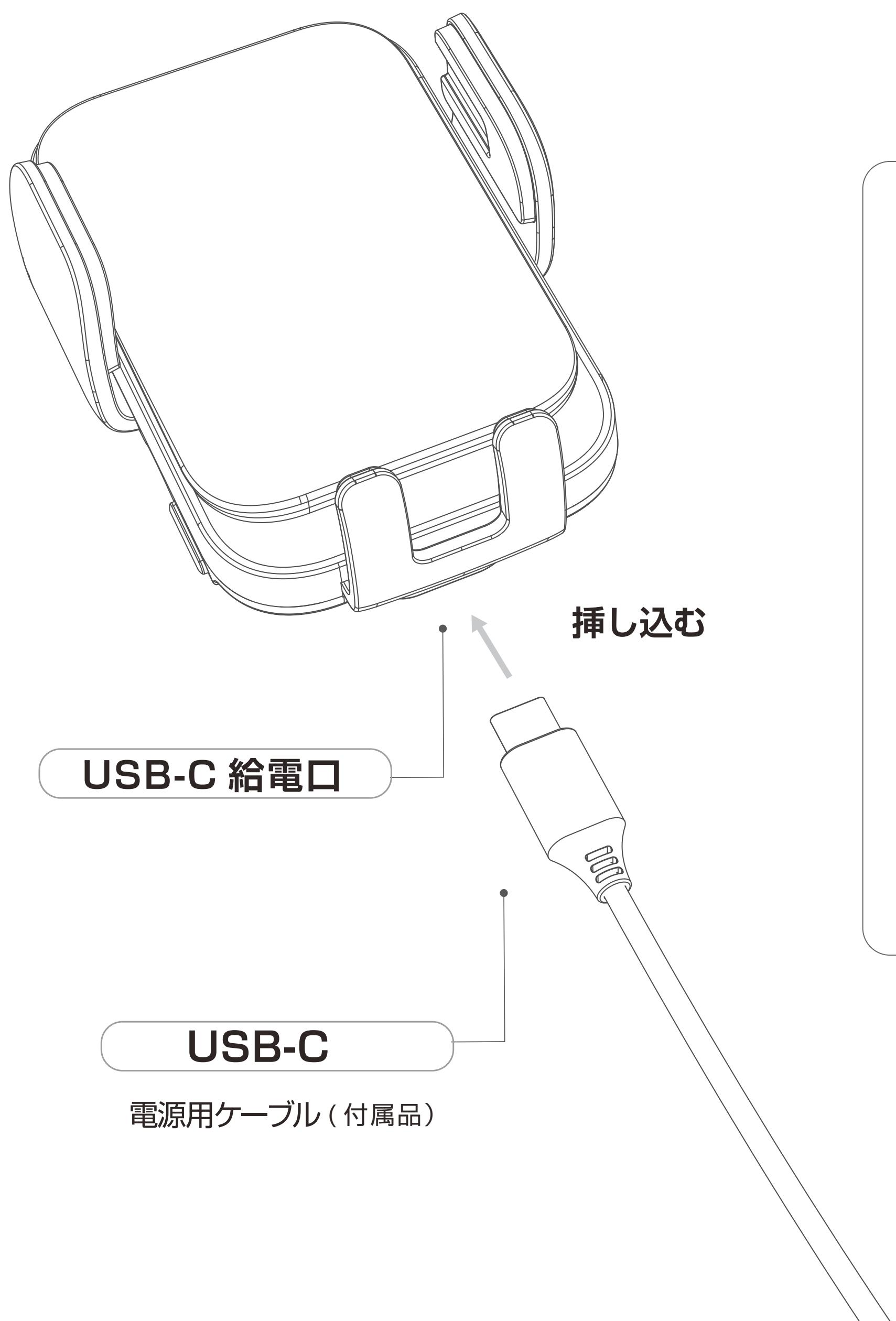


本製品を電源へ接続

USB 電源は定格 5V2A または
QuickCharge2.0 以上をご使用ください

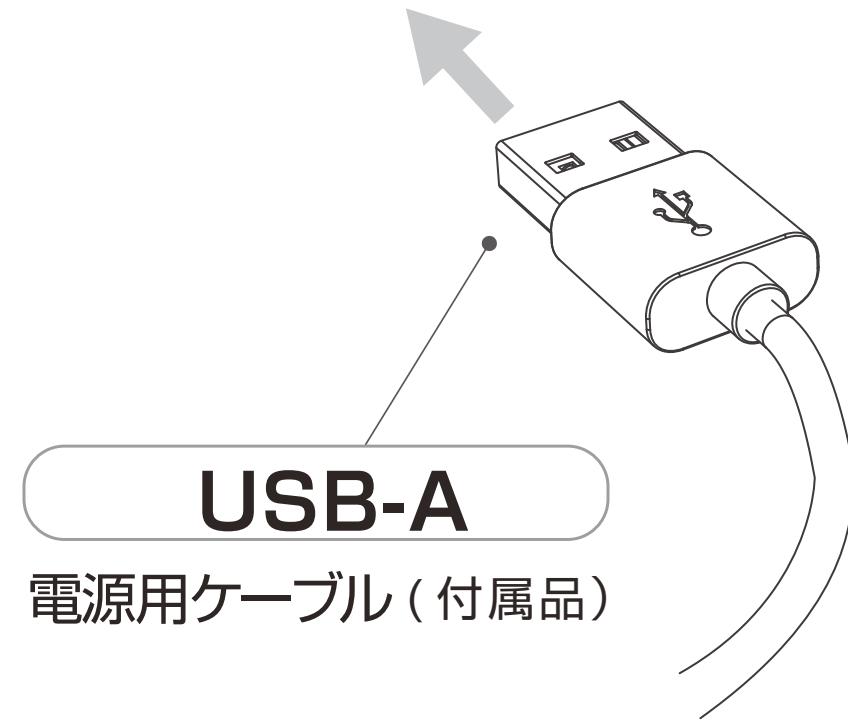
5V2A 以下の給電ポートの場合、充電できない、
または充電に時間がかかることがあります。

本体の給電口に付属ケーブルの USB-C 端子を接続します。
ケーブルの USB-A 端子はお手持ちの USB 電源に接続します。



ケーブルの USB-A 側は
USB 電源に接続します
(USB 電源は付属していません)

USB 電源へ接続



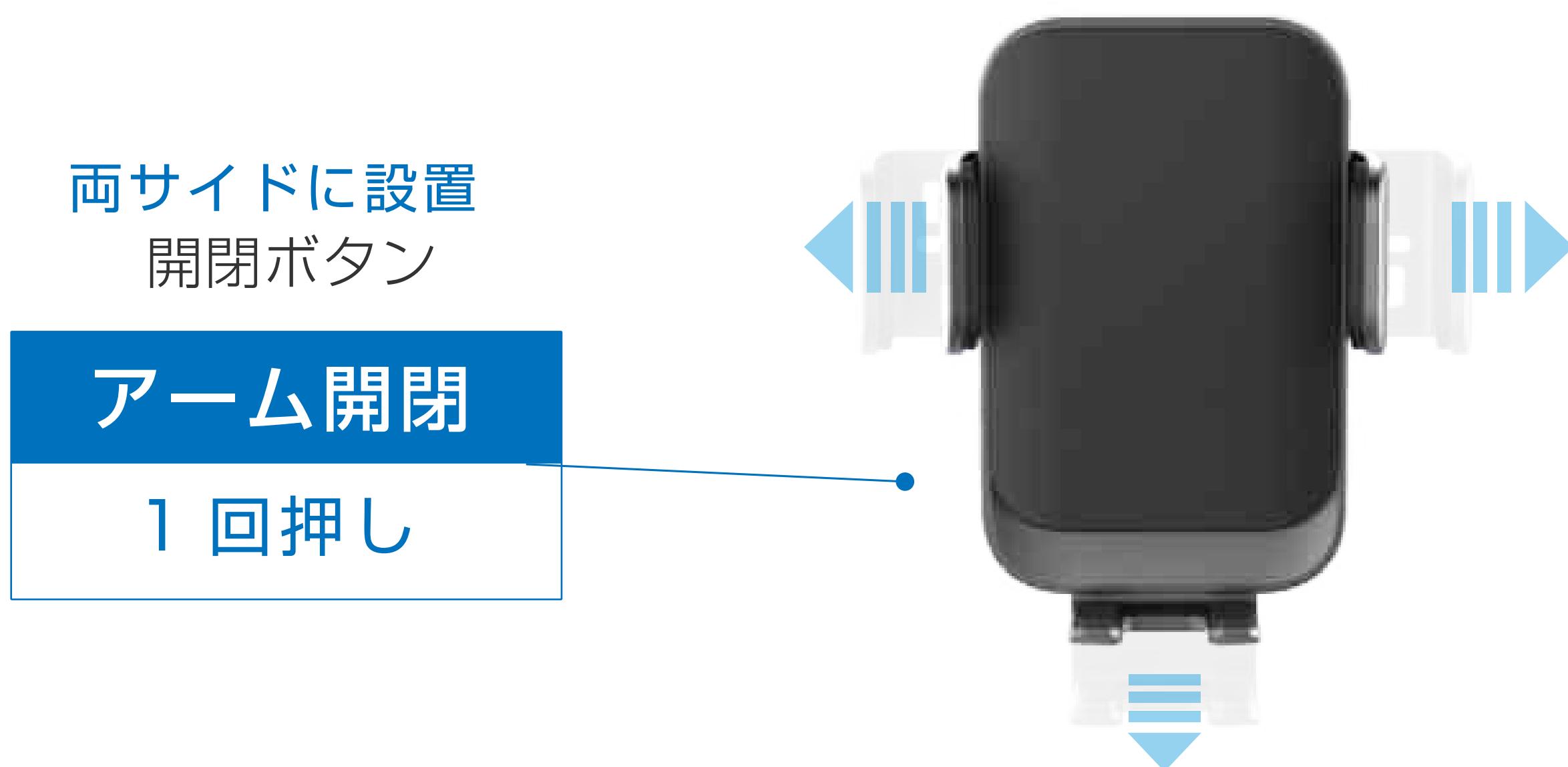
※ケーブルの端子はしっかり奥まで挿してください。

ご使用方法

スマートフォンを設置する

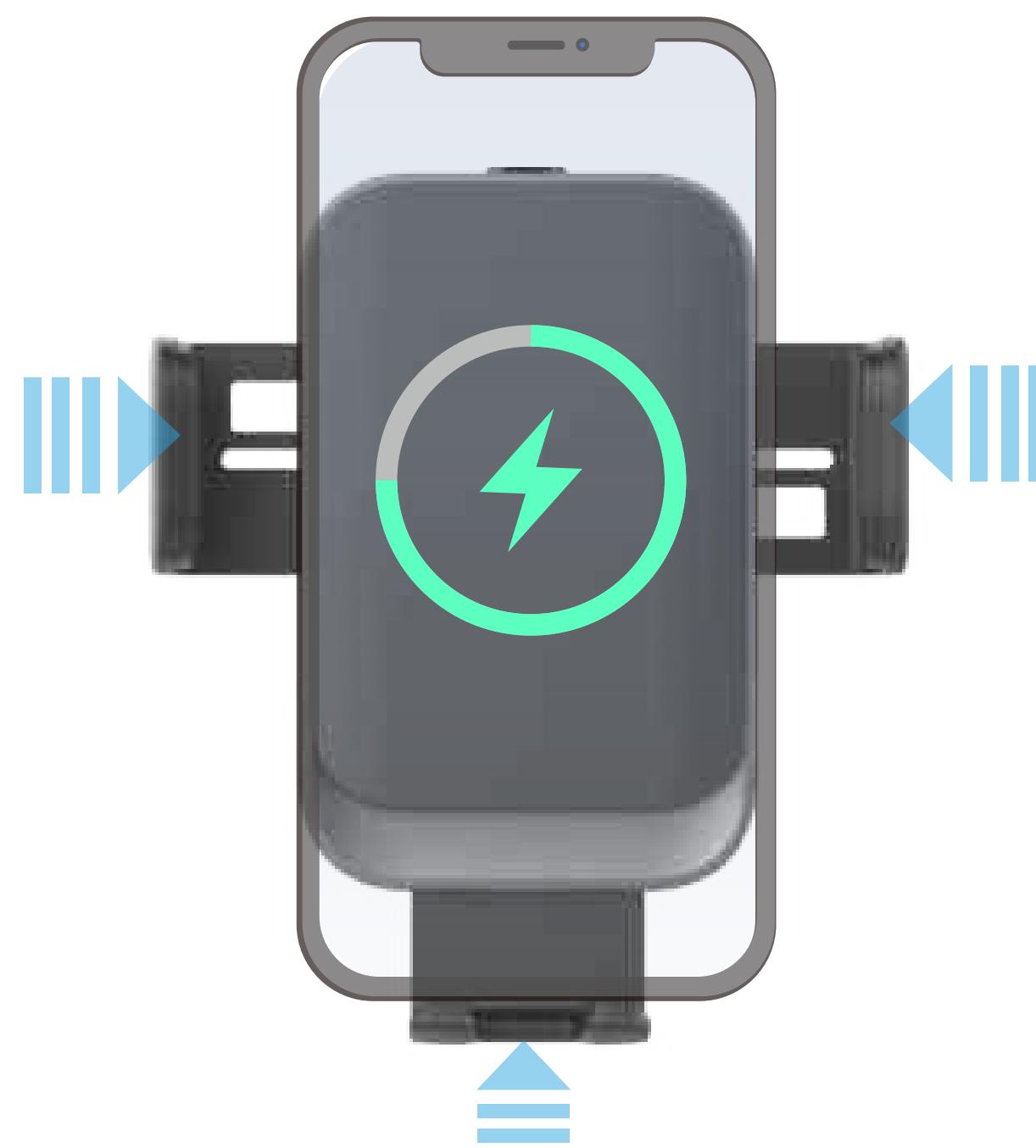
- ① 開閉ボタンを押すとアームと補助足が開きます。

※ 当製品はアーム開閉幅と補助足の高さが連動して開閉する3軸連動タイプです。



- ② お手持ちのスマートフォンを設置します。
ワイヤレス充電を検知でアームとが自動で閉じます。

ワイヤレス充電を
検知できないときは
アームが開いてから
5秒後に閉まります。



- 充電時のご注意 -

※本製品と充電する端末の間に金属や液体などの異物がないことをご確認ください。

※本製品の充電機能は、Qi 充電対応端末に対応しています。
Qi 非対応端末は充電できません。

※充電時間は端末や接続する電源の給電能力等、充電環境により異なります。

※本製品の自動開閉機能は Qi 充電対応端末に対応しています。

※急速充電には急速充電対応端末と QuickCharge2.0 以上の USB 電源が必要です。

設置した端末を取り外す

開閉ボタンを押すと
アームが開きます。

開閉ボタン

アーム開閉

1 回押し



※電源供給停止後は、内蔵のキャパシタにより、数回は開閉ボタンによる電動開閉は可能ですが、(目安 2 回程度) 回数は環境により異なります。

※電源が入っていないときに無理に手で開閉すると故障の原因になりますのでおやめください。

ワイヤレス充電機能 ON/OFF 切り替え

ワイヤレス充電機能を
OFFにしたいときは、
開閉ボタン長押しします。



- ※ワイヤレス充電 OFF 時、通電ランプは消灯します。
- ※ワイヤレス充電 OFF 状態から再度長押しすると ON に切り替えます。
- ※ワイヤレス充電 OFF 時も本製品の電源は ON 状態です。
(アームと補助足の開閉は可能)

通電ランプ表示

開閉ボタンの通電ランプが
ワイヤレス充電状況を
お知らせします。

- 開閉ボタン
- 通電ランプ(青)
- 待機時 一点灯
 - 充電時 一ゆっくり点滅
 - 充電 OFF 一消灯
 - 異常検知 一すばやく点滅後消灯



- 使用上のご注意 -

- 走行中の本製品の調整・操作・端末(スマートフォン)の操作・通話・動画鑑賞は大変危険です。絶対におやめください。
- 車の急発進、急停車などの振動により本製品に設置した端末が落下・破損するおそれがありますのでご注意ください。
- 保護ケースを装着していない端末を本製品に設置したとき、アーム部分と擦れて端末に傷が付く場合があります。予めご了承ください。
- スマートフォンケースが極端に厚いとワイヤレス充電ができない場合があります。
- 当製品でホールド可能なスマホサイズは、幅 64~86mm です。
- 充電中はラジオやワンセグなどの受信状態が悪くなることがあります。
- 周囲温度(使用環境温度)が 0~45°C の範囲でご使用いただき、高温や多湿になる場所(火のそば、直射日光のある場所、炎天下の車内など)で使用・保管しないでください。
- ワイヤレス充電器同士を近づけないでください。端末を検出できず充電できない場合があります。
- 磁気カードや磁気記録メディア、精密機器など磁気の影響を受けるものは本製品に近づけないでください。
- 端末の充電口に充電ケーブルを接続している状態で、端末を置かないでください。
- 本製品は電気製品です。水に濡らしたり濡れた手で使用しないでください。

- ショートの原因となりますので、本製品と充電する機器の間に金属や液体などの異物がないこと、端子の変形や、端子内に異物の混入や付着がないことをご確認ください。
- 電源用ケーブルの端子を斜めに挿し込んだり、接続状態で上下左右に無理な力を加えるなど、端子への負荷をかけないでください。
- 給電は付属の電源用ケーブルをご使用ください。充電するときは結束バンドなどを外し、ケーブルを延ばした状態でご使用ください。束ねた状態でのご使用は発熱の原因となり危険です。
- お子様の手の届かないところでご使用、保管してください。
- 製品の分解や改造はしないでください。本製品の誤った取り付け、または分解や改造してのご使用による事故・故障・破損等の損害につきましては弊社では一切その責任をおいかねます。
- 本製品を使用中、異臭・変形などの異常が起きた場合、製品の使用をただちにおやめください。
- 本製品を使用中に万が一、機器の故障やメモリの消去、またバッテリーパックの破損などが発生した場合、弊社では一切その責任、保証はおいかねます。あらかじめバックアップをお取りになってからのご使用をおすすめします。
- 埋め込み型心臓ペースメーカーなどの医療用電気機器を装着されている方は、充電動作が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。本製品のご使用にあたっては医師へご相談ください。